

平成28年度 教育委員会 第20回定例会 議案

1 日 時 平成29年1月20日（金） 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

<非>第43号議案 教職員の懲戒処分

…非

<非>第44号議案 教職員の懲戒処分

…非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第20回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
配付 報告	平成 28 年度 日中青年代表交流	1
	教育委員会における県立特別支援学校高等部生徒の職場実習の 受入れ	3

平成 28 年度 日中青年代表交流

(社会教育課)

県と中国浙江省の友好交流と相互発展の促進を目的として、静岡県内の各分野の青年代表が、中国浙江省の青年代表と浙江省及び県内にて交流を行った。

1 事業概要

- (1) 参加者 中国に関心があり、日中の友好交流の促進や相互発展への取組に参加する意志のある、県内各分野の 20 代から 40 代の青年。
- (2) 参加人数 静岡県青年 24 人、中国浙江省青年 浙江省交流・静岡県交流各 24 人
- (3) 実施内容

交流・セミナー	月 日	内 容
第 1 回セミナー	7 月 2 日 (土)	開講式、オリエンテーション、グループワーク 等
第 2 回セミナー	7 月 30 日 (土)	中国事情講座、浙江省交流ガイダンス 等
浙江省交流 【7泊8日】	8 月 12 日 (金) ～19 日 (金)	浙江省青年との交流プログラム、歓迎レセプション、現地・日系企業視察、現地邦人との交流会、寧波・上海市内視察 等
第 3 回セミナー	10 月 1 日 (土)	静岡県交流ガイダンス、グループワーク 等
静岡県交流 【3泊4日】	11 月 24 日 (木) ～27 日 (日)	ホームステイ、歓迎レセプション、青年意見交換会、静岡県内 (学校・企業) 視察 等
第 4 回セミナー	12 月 17 日 (土)	交流報告会、閉講式

2 現地交流

(1) 浙江省交流

- ア 実施日 平成28年8月12日(金)～19日(金) 7泊8日
- イ 場 所 中国浙江省寧波市・杭州市、上海市
- ウ 訪中者 静岡県青年交流代表団 29 人
〔内訳〕 団長 栗原 績 日中青年代表交流実行委員会会長
県内青年 24 人、事務局員 4 人



寧波中学校視察

エ 日 程

	8/13(土)	8/14(日)	8/15(月)	8/16(火)	8/17(水)	8/18(木)
午前	交流プログラム (市内視察)	現地企業研修 (寧波港、寧波阿拉老酒)	現地企業研修 (寧波国家大学科学技術園)	寧波→杭州	日系企業研修 (上海大昭和有限公司)	上海 グループ ワーキング
午後	コース別研修 (企業、学校) 歓迎レセプション	寧波市内視察 寧波グループワーキング	現地企業研修 (慈谿杭州湾新区) 交流夕食会	現地企業研修 (阿里巴巴集団) 杭州→上海	日系企業研修 (ヴァスやまざき) 交流夕食会	

(2) 静岡県交流

- ア 実施日 平成28年11月24日(木)～27日(日) 3泊4日
- イ 場 所 県内各地
- ウ 来静者 浙江青年友好代表団 28 人
〔内訳〕 団長 朱 林森 浙江省青年連合会主席
副団長 錢 福安 金華市青年連合会主席
秘書長 宣 偉健 浙江省青年連合会副秘書長
浙江省青年 24 人、通訳 1 人



青年意見交換会

エ 日 程

	11/24 (木)	11/25 (金)	11/26 (土)	11/27 (日)
午前	歓迎レセプション	県内視察 (株式会社明治東海工場)	青年意見交換会	ホームステイ
午後		県内視察 (静岡文化芸術大学)	ホームステイ	

(3) 交流の満足度

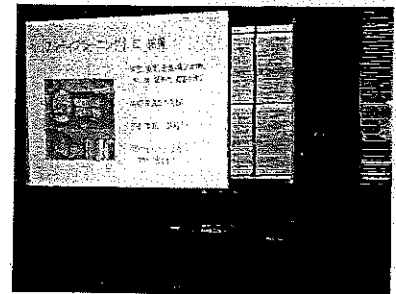
浙江省交流に対する満足度				静岡県交流に対する満足度	
交流プログラム	現地企業研修	日系企業研修	現地邦人交流会	ホームステイ	青年意見交換会
100%	100%	100%	100%	100%	91%

※ 満足度は「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答した割合を算出。

3 交流報告会

(1) 要 旨

第4回セミナーにおいて、各参加者が交流成果と今後日中交流に継続的に寄与していくための「日中交流架け橋プラン」を発表した。



参加者による発表

(2) 概 要

- ア 実施日 平成 28 年 12 月 17 日(土)
- イ 場 所 県庁別館 7 階第 2 会議室
- ウ 出席者 県内参加青年 22 人、来賓 16 人、実行委員 7 人

参加者の声 (抜粋)

- ・ 中国の学校を視察して、アクティブラーニングの必要性を実感した。去年と同じ教育をしてはいけなかった。(40代男性、小学校教員)
- ・ メディアで伝えられる中国と実際の中国とのギャップを知った。(30代男性、製造業)
- ・ 今回の研修で得た知識を少しずつでも授業等で生徒たちに伝えたい。(30代女性、高校教員)
- ・ 中国の若者たちの志の高さや、経済発展の状況を目の当たりにし、日本も負けていられないと思った。(20代女性、物流業)
- ・ 経験や人脈形成という成果に加え、中国人から我々が見習うべきところを吸収し、人間的に成長できた。(20代男性、行政)

【参考】

参加者内訳

業種	人数
企業・団体	12 人
教育	5 人
行政	6 人
学生	1 人
計	24 人

男性 15 人、女性 9 人、平均年齢 31.4 歳

(件名)

教育委員会における県立特別支援学校高等部生徒の職場実習の受入れ

(特別支援教育課)

1 目的

- ・ 県庁職員の障害者の就労に対する理解の一層の向上を図る。
- ・ 実習生が、卒業後の社会参加を目指し、実際の労働の現場での就労体験を通し、職場適応力や社会生活力を高める。

2 実施期間

平成 29 年 1 月 23 日 (月) から 1 月 27 日 (金) まで

3 就業時間

午前 8 時 30 分から午後 4 時

4 実習生

県立中央特別支援学校 高等部 1 年生 男子 1 名 肢体不自由障害

5 実習の日程

8:30 朝の打合せ (特別支援教育課)

8:45 作業

12:00 昼食休憩 (特別支援教育課)

13:00 作業

15:45 反省 (特別支援教育課)

月日		担当課	主な仕事内容
1月23日 (月)	午前	福利課厚生班	ラベル貼り等
	午後	教育政策課情報化推進室	アンケート集計業務等
1月24日 (火)	午前	教育政策課	統計データチェック業務等
	午後	教育総務課総務人事班	封筒宛名シール貼り等
1月25日 (水)	午前	社会教育課	データ入力等
	午後	社会教育課	データ入力等
1月26日 (木)	午前	高校教育課総務企画班	アンケート集計業務等
	午後	文化財保護課	アンケート集計業務等
1月27日 (金)	午前	義務教育課	ラベル貼り等
	午後	義務教育課	ラベル貼り等

※他課に依頼する仕事内容は、現在調整中であり、変更することもある。

6 その他

- ・ 県庁内職場実習の担当は、特別支援教育課指導担当が行い、必要に応じて受入れ課との調整、学校、家庭との連絡等を行う。
- ・ 実習中、保護者や担任が巡回指導で実習生の様子を見学に来庁する場合は、特別支援教育課で対応する。